

第10回鋼構造シンポジウム 「建築鉄骨における溶接接合部の近年の研究動向」

主催：日本建築学会中国支部

共催：日本建築構造技術者協会中国支部，協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

講師：中込忠男（信州大学名誉教授）

日時：11月26日（土）15:00~17:00

定員/参加費：80名/無料

対象：本会・共催団体会員,建築技術者,大学院生,大学生

問合せ：広島工業大学 建築工学科

清水 斉 h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp

内容：

鋼構造建築物では、接合部の性能が、建物全体の構造性能に大きな影響を及ぼす。今回は、その接合部の中でも溶接接合に着目し、設計・施工に有用な話題を取り上げる。例えば、入熱・パス間温度、ロボット溶接、ノンスカラップ工法(現場溶接含む)、溶接欠陥評価・UT・溶融亜鉛めっきの際のめっき割れ等、基礎的な話を中心にしながら、近年の研究動向についても講演を行う。

最後に会場から講演内容についての質疑を行う。

本シンポジウムは、鉄骨製作に関する話題提供であり、より合理的な鋼構造設計や鋼構造建築物の製作に繋げていただくために企画されたものである。是非とも、構造設計者、鉄骨製作技術者、および大学生・院生の積極的な参加を期待する。



広島工業大学広島校舎
(広島市中区中島町 5-7)
082-249-1251